

様式第十三（第五十八条第四項関係）

要措置区域台帳

栃木県

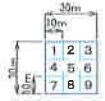
整理番号	平-30-2	指定年月日・指定番号	平成30（2018）年8月31日 要-17	所在地	栃木市平柳町二丁目字伊勢前104番1及び104番2の各一部	
調製・訂正年月日	平成30（2018）年8月31日調製					
要措置区域の概況	事業場敷地			面積	237.10 m <sup>2</sup>	
地下水汚染の有無（土壌溶出量基準不適合の場合）				有 ・ 無		
法第14条第3項の規定に基づき指定された要措置区域にあっては、その旨				法第14条第3項の規定に基づき指定された要措置区域である。		
土壌汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壌汚染状況調査の結果により指定された要措置区域にあっては、その旨及び当該省略の理由				-		
要措置区域内の土壌の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称
	平成30（2018）年 6月18日	ふっ素及びその化合物		含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		(株)環境ラボ
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
土地の形質の変更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壌搬出	汚染土壌の処理方法
					有・無	
					有・無	
					有・無	

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 「要措置区域内の土壌の汚染状態」については、土壌その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。



図 1.4.1 対象地位置図



<凡例>

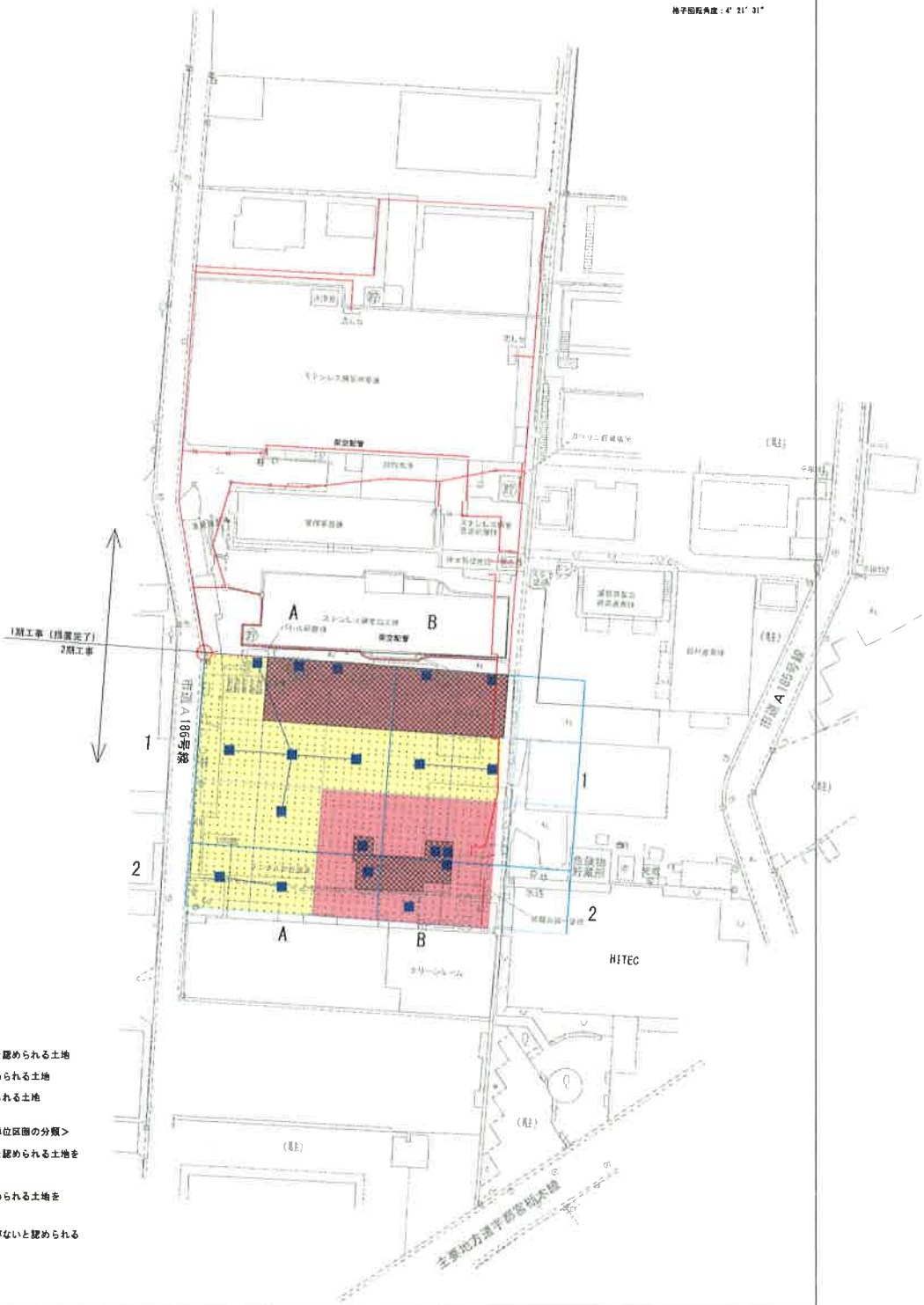
- ⊕: 基点
- : 架空配管
- : 地下配管
- : 調査対象地
- : 単位区画
- : 30m格子
- : 統合した単位区画
- : 基準不適合土壌汚染範囲
- : 原則除去を行い指定解除となった範囲
- ▲: 土壌ガス試料採取地点
- : 土壌試料採取地点

<土壌汚染のおそれの区分>

- ⊗: 土壌汚染が存在するおそれが多いと認められる土地
- ⊘: 土壌汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地
- : 土壌汚染が存在するおそれがないと認められる土地

<土壌汚染のおそれの区分に基づく単位区画の分類>

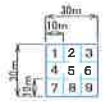
- ⊗: 土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地を含む単位区画 (全部対象区画)
- ⊘: 土壌汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地を含む単位区画 (一部対象区画)
- : 全ての範囲が土壌汚染が存在するおそれがないと認められる単位区画 (対象外区画)



添付資料2 試料採取位置図  
第二種特定有害物質 (表層)  
(ふっ素及びその化合物)

1/1000





<凡例>

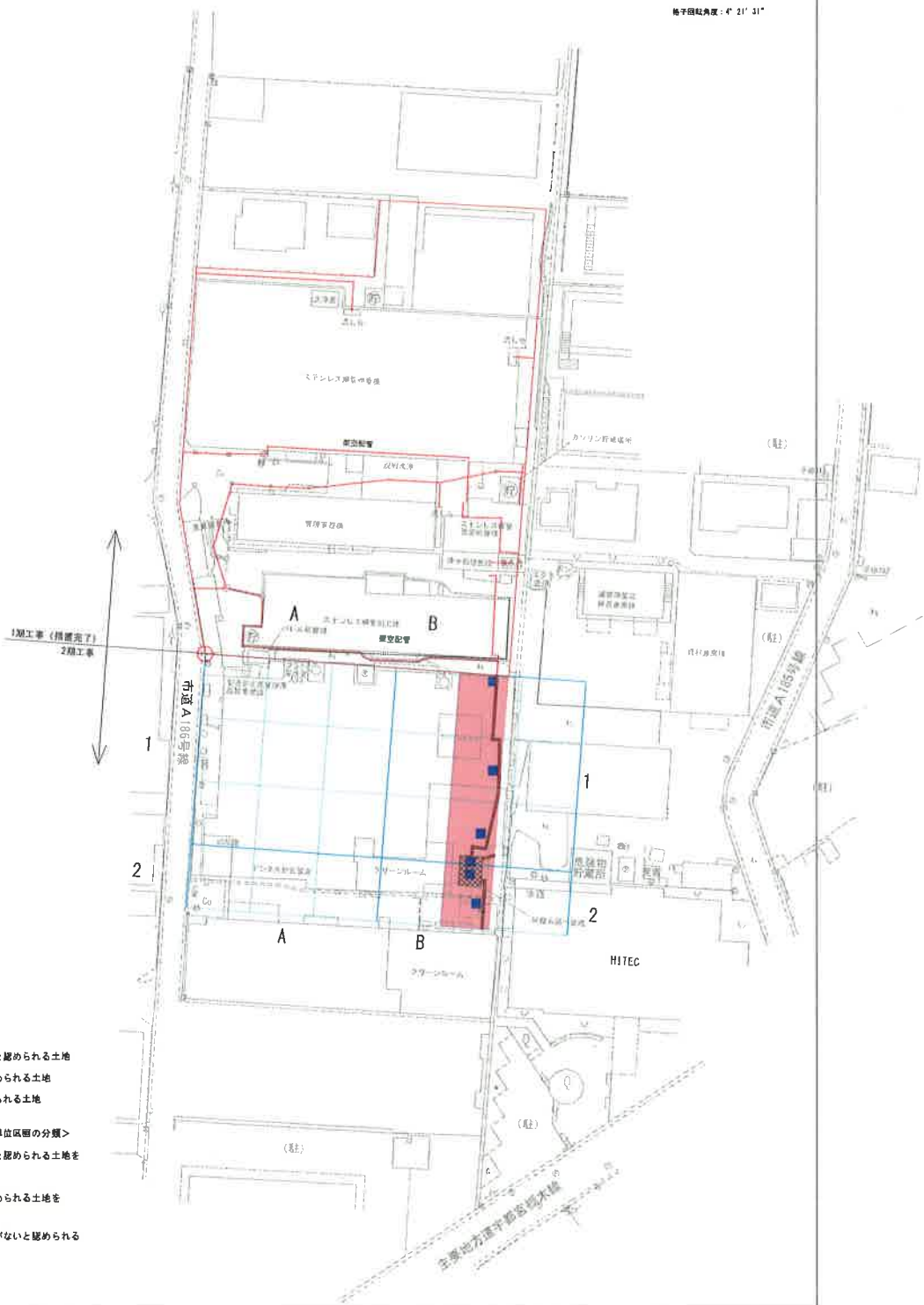
- ⊕ : 起点
- : 架空配管
- : 地下配管
- : 調査対象地
- : 単位区画
- : 30m格子
- : 統合した単位区画
- : 基準不適合土壌汚染範囲
- : 掘削除去を行い指定解除となった範囲
- ▲ : 土壌ガス試料採取地点
- : 土壌試料採取地点

<土壌汚染のおそれの区分>

- ⊗ : 土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地
- ⊘ : 土壌汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地
- : 土壌汚染が存在するおそれがないと認められる土地

<土壌汚染のおそれの区分に基づく単位区画の分類>

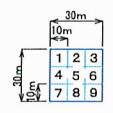
- : 土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地を含む単位区画 (全対象区画)
- : 土壌汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地を含む単位区画 (一部対象区画)
- : 全ての範囲が土壌汚染が存在するおそれがないと認められる単位区画 (対象外区画)



N  
 格子回転角度: 4° 21' 31"

試料名	種別	ふっ素及びその化合物 (表層)		
		深度 (0.L-m)	土壌溶出量 (mg/L)	土壌含有量 (mg/kg)
A1-①	5点調査	—	—	—
A1-②	5点調査	—	0.50	N.D.
A1-③	ピット下	1.52-2.02	—	—
A1-2	個別試料	—	0.55	N.D.
A1-3	個別試料	—	0.26	N.D.
A1-9	個別試料	—	0.47	N.D.
A2-①	2点調査	—	0.40	N.D.
A2-②	2点調査	—	—	—
A2-3-1	個別試料	—	0.59	N.D.
B1-①	2点調査	—	0.72	N.D.
B1-②	5点調査	—	—	—
B1-1-1	個別試料	—	—	—
B1-1-2	個別試料	—	0.69	N.D.
B1-2-1	個別試料	—	—	—
B1-2-2	個別試料	—	1.40	N.D.
B1-2-2H	配管下	0.25-0.75	1.50	N.D.
B1-4-1	個別試料	—	—	—
B1-5-1	個別試料	—	—	—
B1-5-2H	配管下	0.35-0.85	0.87	N.D.
B1-7-1	個別試料	—	0.61	N.D.
B1-8-1	個別試料	—	0.31	N.D.
B1-8-2P	ピット下	1.40-1.90	0.94	N.D.
B1-8-3H	配管下	0.20-0.70	0.60	N.D.
B2	2点調査	—	—	—
B2-1-1	個別試料	—	0.16	N.D.
B2-2-1	個別試料	—	0.23	N.D.
B2-2-2P	ピット下	1.40-1.90	0.55	N.D.
B2-2-3H	配管下	0.63-1.13	0.46	N.D.
定量下限値	—	—	0.08	400
指定基準	—	—	0.8	4000

※赤字は指定基準超過、青字は指定基準以下  
 ※N.D. は定量下限未満



- <凡例>
- ⊕: 起点
  - : 架空配管
  - : 地下配管
  - : 調査対象地
  - : 単位区分
  - : 30m格子
  - : 統合した単位区分
  - : 基準不適合土壌設置範囲
  - : 掘削除去を行い指定解除となった範囲
  - : 指定基準値を超過した単位区分

添付資料10 土壌溶出量、含有量試験結果図  
 第二種特定有害物質 (表層)  
 (ふっ素及びその化合物)

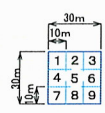
1/1000

株式会社環境ラボ



試料名	種別	ふっ素及びその化合物 (深層)	
		深度 (0.1~m)	土壌抽出量 (mg/L)
A1-①	5点調査	—	—
A1-②	5点調査	—	0.50
A1-IP	ピット下	1.52~2.02	—
A1-2	個別試料	—	0.55
A1-3	個別試料	—	0.26
A1-4	個別試料	—	0.47
A2-①	2点調査	—	0.40
A2-②	2点調査	—	—
A2-3-1	個別試料	—	0.59
B1-①	2点調査	—	0.72
B1-②	5点調査	—	—
B1-1-1	個別試料	—	—
B1-1-2	個別試料	—	0.69
B1-1-1	個別試料	—	—
B1-1-1	個別試料	—	1.40
B1-2-2H	配管下	0.25~0.75	1.50
B1-4-1	個別試料	—	—
B1-5-1	個別試料	—	—
B1-5-2H	配管下	0.35~0.85	0.87
B1-7-1	個別試料	—	0.61
B1-8-1	個別試料	—	0.31
B1-8-2P	ピット下	1.40~1.90	0.84
B1-8-3H	配管下	0.20~0.70	0.60
B2	2点調査	—	—
B2-1-1	個別試料	—	0.16
B2-2-1	個別試料	—	0.23
B2-2-2P	ピット下	1.40~1.90	0.53
B2-2-3H	配管下	0.63~1.13	0.46
定量下限値	—	—	400
指定基準	—	—	4000

※赤字は指定基準超過、青字は指定基準以下  
※N.D.は定量下限値未満



- <凡例>
- ⊕ : 起点
  - : 架空配管
  - : 地下配管
  - : 調査対象地
  - : 単位区画
  - : 30m格子
  - : 統合した単位区画
  - : 基準不適合土壌残存範囲
  - : 掘削除去を行い指定解除となった範囲
  - : 指定基準値を超過した単位区画

添付資料10 土壌溶出量、含有量試験結果図  
第二種特定有害物質 (配管下)  
(ふっ素及びその化合物)

1/1000

